



日立造船グリーンボンドの発行 — 製造業における日本初のグリーンボンド事例 —

日立造船株式会社

1. はじめに

「循環型社会実現」に向け、当社グループは「エネルギー」と「水」の環境分野をコア事業領域として、豊富なソリューションを提供していきます。中でもエネルギー関連事業のごみ焼却発電施設は、廃棄物を焼却処理することで衛生的な処理を行うと同時に、大切なエネルギー資源として発電し、電力供給することができます。1965年に日本初の本格的な発電設備付ごみ焼却施設を納入して以来、当社グループは、日本やアジア、欧州を中心に900件以上におよび世界トップクラスの実績を有しています。

2. 国内製造業初となるグリーンボンドの発行

今回、当社の環境方針に合致する業務の遂行にあたり、使用する技術、サービスを対象としてグリーンボンドによる資金調達を決定しました。グリーンボ

ンドとは、企業や地方公共団体等が、グリーンプロジェクト(環境改善効果がある事業であり、再生可能エネルギー事業、省エネ建築物の建設・改修、環境汚染の防止・管理など)に要する資金を調達するために発行する債券です。

当社が発行する「日立造船グリーンボンド」の概要を表-1に、また日立造船グリーンプロジェクトの内容を表-2に示します。なお、本発行は国内製造業で初めてのグリーンボンドの事例です。今回のグリーンボンドの発行で調達された資金は、CO₂排出量の削減効果が認められるごみ焼却発電施設にかかる資材購入等の費用としての資金に充当する予定です。また、適格プロジェクトへの資金充当状況および環境への効果(発電出力実績や温室効果ガス排出削減量等)については、当社ウェブサイトや統合報告書にて年次でレポートし、情報開示します。

表-1 日立造船グリーンボンドの概要

発行体	日立造船株式会社
名称	日立造船株式会社第26回無担保社債 (日立造船グリーンボンド)
発行日	2018年9月21日
条件決定日	2018年9月14日
発行年限	3年
発行額	50億円
グリーンプロジェクト	①京都市南部クリーンセンター第二工場(仮称) ②菊池環境保全組合新環境工場
主幹事	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 野村證券株式会社
グリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント(注1)	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

表-2 日立造船グリーンプロジェクト

	① 京都市南部クリーンセンター第二工場 (仮称)	② 菊池環境保全組合新環境工場
発注者	京都市	菊池環境保全組合
工事名称	京都市南部クリーンセンター第二工場(仮称) 建替え整備工事	新環境工場(ごみ処理施設) 整備および運営事業
対象業務	ごみ処理施設・管理事務所・環境学習施設の設計および施工(既存施設の解体、外構その他関連する付帯施設整備等を含む)	ごみ処理施設の設計・施工および建設後の20年間の運営
施設概要	処理量: 500t/日(ストーカ炉 250t/日×2炉) 発電能力: 14,000kW 選別資源化設備: 180t/6時間 バイオガス化設備: 60t/日(30t/日×2系列)	処理量: 170t/日(85t/日×2炉) 発電出力: 2,800kW
竣工	2019年3月末	2021年3月末

3. 適格性に関する第三者評価

本グリーンボンドの適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として、リスクマネジメントに関する先駆的国際機関であるDNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社からセカンドパーティオピニオンを取得しています。さらに、本グリーンボンドに係る第三者評価の取得について、環境省の平成30年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業(注2)の補助金交付対象となっています。

4. 今後の取り組みについて

当社は、グリーンボンドの発行により資金調達手段の多様化を図るとともに、より環境にやさしい施設導入を図り、循環型社会の実現に貢献していきます。

(注1)グリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント

グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得に関する助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。

(注2)環境省グリーンボンド発行促進体制整備支援事業

グリーンボンドを発行しようとする企業や地方公共団体等に対し、外部レビューの付与、グリーンボンドフレームワーク整備のコンサルティング等により支援を行う登録発行支援者に対して、その支援に要する費用を補助する事業。

